主題：神の建造の内在的な構成を知り経験する

メッセージ　14

ダビデの子孫は神の子となって多くの子を生み出し、キリストのからだを構成し建造する

聖書：サムエル下7:12-14前半．ローマ1:1，3-4．8:3後半，10，14，16，29．12:4-5

Ⅰ．「キリスト・イエスの奴隷、召された使徒、神の福音へと選び分けられたパウロ……この福音は、御子に関するものです」――ローマ1:1，3前半：

A．ローマ人への手紙の書は神の福音についてです――1，9，16節．2:16．10:16．11:28．15:16，19．16:25。

B．この書全体は、第１章の神・人であるイエス・キリストのパースン、神の義から、第16章のキリストのからだの表現としての諸地方召会まで、完全な神の福音です――1:3-4，16-17．12:4-5．16:1，4，16。

C．神・人であるイエス・キリストは、福音の中心、良き知らせ、人に対する神の喜ばしいおとずれです――1:3-4。

D．神・人であるイエス・キリストのパースンは、福音における神の意図を暗示しています。すなわち、唯一の神である彼が人になることを願われたのは、彼によって贖われた堕落した人が、彼の多くの子になるということです。彼らは、神格においてではなく、命と性質において神と同じです――9:5．8:3，14，16，29-30。

Ⅱ．「神は、ご自身の御子を罪の肉の様で、罪のために遣わし、肉において罪を罪定めされました」――ローマ8:3後半：

A．肉は罪に属するものですが、神の御子は肉となりました――ヨハネ1:14．ヘブル2:14．Ⅰテモテ3:16。

B．しかしながら、神の御子キリストだけは、罪の肉の様にありながら、肉の罪を持っていませんでした。これは、罪深いイスラエル人のためにモーセによって上げられた青銅の蛇によって予表されました――Ⅱコリント5:21．ヘブル4:15．民21:9．ヨハネ3:14。

C．キリストは肉の罪を持っていませんでしたが、肉において十字架につけられました――コロサイ1:22．Ⅰペテロ3:18：

１．十字架上で彼は、肉と関係のあるサタンと、サタンの上に掛かっているこの世を裁き、こうしてサタンを滅ぼしました――ヨハネ12:31．16:11．ヘブル2:14。

２．肉におけるキリストの十字架刑を通して、サタンによって人の肉の中にもたらされた罪を、神は罪定めしました――ローマ8:3後半。

Ⅲ．「御子に関するものです．この方は、肉によればダビデの子孫より生まれ、聖別の霊によれば、死人の復活により、力の中で神の御子と定められたわたしたちの主イエス・キリストです」――ローマ1:3-4：

A．「より」という言葉は、キリストの存在の二つの源を言っています。一つはダビデの子孫であり、もう一つは死人の復活です。

B．受肉の前、神聖な方であるキリストは、すでに神の御子でした。しかし、受肉によ

って、彼は一つの要素、すなわち人の肉を着ました。それは神性とは何の関係もありませんでした――ヨハネ1:18，14．ローマ8:3後半：

1．彼の人の部分は、死と復活を経過することによって聖別され、引き上げられる必要がありました。

2．復活によって、彼の人性は聖別され、引き上げられ、造り変えられました。

3．復活によって、彼は人性を伴って、神の御子と定められました。彼の復活は、彼の定められることでした――使徒13:33．ヘブル1:5。

4．ダビデの子孫は、彼の人性において息子化され、神の御子と定められました。これは、サムエル下第7章12節から14節前半の成就でした。

C．今や彼は神の御子として、神性だけでなく人性も持っています：

1．受肉によって、彼は神を人の中へともたらしました。復活によって、彼は人を神の中へともたらしました。すなわち、彼は彼の人性を神聖な子たる身分の中へともたらしました。

2．このようにして、神のひとり子は神の長子とされ、神性と人性の両方を持っています。

3．神は、神性と人性の両方を持つ長子を、生み出す方として、また原型、モデルとして用いて、彼の多くの子、すなわち、御子を信じて受け入れたわたしたちを、生み出しつつあります――ローマ8:29-30．ヨハネ1:12-13．3:15-16。

4．最終的に、わたしたちも神の子たちとして定められ、現されます。そして彼と共に神を表現します――ローマ8:19，21。

Ⅳ．「その霊ご自身、わたしたちの霊と共に、わたしたちが神の子供たちであることを証ししてくださいます」――ローマ8:16：

A．その霊は、わたしたちと神との最も基本的で初歩的な関係を証しします。すなわち、わたしたちが彼の子供たちであって、彼の命を持っていることを証しします――Ⅰヨハネ3:1前半．5:11-12。

B．その霊がこのように証しすることは、わたしたちの霊的誕生、わたしたちの再生の時から始まります――ヨハネ3:3，5-6。

C．三一の神のその霊は、わたしたちの再生された霊の中に住んでおり、わたしたちの再生された霊の中で働きます：

1．これら二つの霊は一です――Ⅰコリント6:17。

2．これら二つの霊は、共に生活し、共に働き、共に存在して、一つのミングリングされた霊となっています――ローマ8:4。

Ⅴ．「神の霊に導かれている者はみな、神の子たちであるからです」――ローマ8:14：

A．子たち(sons)は、子供たち(children)よりも、神聖な命の成長のさらに進んだ段階にいます――16節。

B．子たちは、魂の造り変えの段階にいる神の子供たちです。彼らは霊の中で再生されて、神聖な命において成長しているだけでなく、その霊に導かれて生活し歩いています。

C．ローマ人への手紙の中心思想は、神の救いが罪人を、神を表現することのできる神の命と性質を持つ神の子たちにするということです。それは彼らがキリストの肢体

となって、キリストのからだを構成し、彼を表現するためです――3:23. 12:4-5。

Ⅵ.「キリストがあなたがたの中におられる」――ローマ8:10：

A.「キリストがあなたがたの中におられる」がローマ人への手紙の書の中心思想です。

B. 今日、キリストはその霊です。そしてキリストの霊は、まさにわたしたちの中のキリストです――10節：

1. 事実によれば、それはキリストであり、経験によれば、それはその霊です。

2. わたしたちは、わたしたちの救い主また贖い主としてのキリストを受け入れます。しかし、彼はわたしたちの中にその霊として入ってきます。

3. わたしたちの中に住んでいるのは二人ではなく、二つの面におけるひとりの住む方です。

Ⅶ.「神はあらかじめ知っておられた者たちを、御子のかたちに同形化しようと、あらかじめ定められたからです. それは、御子が多くの兄弟たちの間で長子となるためです」――ローマ8:29：

A. 神がわたしたちをあらかじめ定められたのは、単にわたしたちが聖別され、霊的になり、勝利を得るためではなく、御子のかたちに同形化されるためです。

B. 同形化は、造り変えの最終結果です。それには、わたしたちの内側の本質と性質が変えられることが含まれており、またわたしたちの外側の形が変えられることも含まれています。それによってわたしたちは、神・人であるキリストの栄光のかたちに一致します。

C. わたしたちにおける内側の変化と外側の変化の両方とも、わたしたちの存在における命の霊の法則の働きの結果です――2節。

D. 基礎、模範、要素、手段としての神の長子をもって、神は多くの子たちを生み出しつつあります。彼らは、命と性質において全く長子のようであり、彼のように人性と神性の両方を持っています――ヘブル2:10-12。

E. 第一の神・人であるキリストは原型であって、無数の神・人たちを生み出し、この原型の大量の複製とします：

1. これらの無数の神・人たちは、原型としての第一の神・人、神の長子と全く同じです。

2. 原型の大量の複製は、原型の肢体たちとなって、キリストのからだとなります。

Ⅷ.「一つの体の中には多くの肢体があり、そしてすべての肢体が同じ機能を持っていないように、わたしたちも数は多いのですが、キリストの中で一つからだであり、そして各自は互いに肢体なのです」――ローマ12:4-5：

A. わたしたちはキリストの中で一つからだであり、彼と有機的な結合を持っています。この結合はわたしたちを命の中で、彼と一にし、また彼のからだの他のすべての肢体とも一にします――Ⅰコリント6:17。

B. 神の救いの目的は、キリストが無数の聖徒たちの中に複製されることです。それは彼らが彼のからだの肢体となって、分離した完全な個々の単位ではなく、生きた、機能する、組み合わされた、団体的な全体の一部となるためです――12:12-13, 27. エペソ5:30。

©2006 Living Stream Ministry